

球体関節人形作家：大竹京さん

「Art of the Doll」に招待作家として参加

II МОСКОВСКАЯ МЕЖДУНАРОДНАЯ ВЫСТАВКА

2nd International Moscow exhibition

ИСКУССТВО КУКЛЫ

Art of the Doll



日時：2011年10月28,29日10時～21時
30日10時～19時

会場：中央展示ホール（赤の広場前）

主催：ドールマネージ <http://www.dollmanege.ru/>

2011年10月28日～30日まで、モスクワでドールショー「Art of the Doll」の第二回が開催されました。ロシア各地をはじめ、日本も含む海外からも多数の国々が参加。今回も、バラエティゆたかな人形たちを見たり、買ったりとさまざまに楽しむ人々で、会場は終日、アミューズメントパークのような楽しい雰囲気につつまれていました。

人形のジャンルを固定できないほど個性あふれる出展が、このショーの特長でもあります。日本が独自の展開をみせている球体関節人形は、今、ロシアの人形作家たちの間でも注目のジャンル。今回、その球体関節人形作家の代表として、日本から大竹京さんが招待されました。

「自分にとって楽しいか、退屈か」という視点で人形を見るモスクワの人々の、大竹さんの作品への反応は「神さまみたい」「すばらしい」「生きているよう」など、ストレートな賛辞に満ちていました。

「日本人ということで注目されたのではなく、一人の作家、一つの作品として評価されたことがうれしかったです。私のようなスタイルの人形は他には見なかったので、もっと世界の人に



見てもらいたい、と思いましたね」と大竹さん。

また、福島原発の被害を受けた福島で活動する大竹さんは、福島、東北の被災地の写真も展示。現地でも被災地への関心は高く、約9600ルーブルの募金が集まりました。これは大竹京さんから義援金として被災地の為に使われます。

今回のショーでの展示と、同時に行ったマスタークラスが高く評価され、2012年5月28日～6月3日まで、サンクトペテルブルグでのマスタークラスに講師として招かれています。



大竹京さんの代表的な作品、130cmの球体関節人形3体と固定ポーズの天使の人形を展示。
アートフラワー協力：飯田嘉子



マスタークラス（講習会）で使用したエル・ブーベ（球体関節人形キット）の完成品を展示。

